

はじめに

あなたにとつて、父性とはなんですか？
どのように解釈しているでしょうか？

一般的に父性は母性ぼせいと対になる言葉として使われることが多いと思います。母性とは、家庭での子育てにおいて、主に母親に求められる機能・役割のことであり、父性とは、主に父親に求められる機能・役割のことです。

しかし、本書では、「父性」という言葉の意味を、もつと広義に解釈しています。父性は何も父親だけのものではなく、母親だって、子供のいない女性だって、子供こどもだって、すべての人が身につけられるエッセンス・機能・役割なのだと考えます。トレーニングさえすれば、誰だって父性を身につけることができます。

今の日本人に一番足りておらず、心の奥底で飢えているものこそ、父性なのではないか？ と私は思つ

ているのです。

「私はずっと子供のままでいたい」「私はずっと自由気ままでいたい」「私は一切の責任をとりたくない」という考え方の人にとって父性は必要ありません。そういう人はこの本を手に取る必要はないでしょう。しかし、もし、あなたが組織のリーダーになる、役職につく、子供ができるて親になる、起業して社長になる……など、人生において責任をとる方向に進むとき、父性は必要になつてくるのです。

子供の不登校、引きこもりやニートの増加、婚姻率の低下、出生率の低下など……日本が抱えるさまざまな問題の原因は、父性のない大人が増えてしまったからではないでしょうか？

本書は私の人生のテーマである「父性とは何なのか？」を探求してまとめた父性の入門書、基本となる教科書です。本書を読むことで、あなたのの中に少しでも父性が芽生え、あなたの周りの人に少しでもよい影響を与えることができれば、これ以上嬉しいことはありません。